

「ツーバイフォー建築自主統計」に見る 施設系建築の最新動向

図表-1 ツーバイフォー施設系建築の用途

用途		平成29年度調査	前年度比
福祉施設	特別養護老人ホーム	10件	+1
	有料老人ホーム	8件	△5
	デイサービス施設	15件	+3
	グループホーム	10件	△7
	その他の福祉施設	8件	+8
着工件数 小計		51件	±0
居住系施設	寄宿舎・寮	18件	+2
	サービス付き高齢者向け住宅	10件	△2
着工件数 小計		28件	±0
保育・教育施設	保育所・園	18件	+6
	幼稚園	1件	△6
	学校(小中高大)	1件	+1
着工件数 小計		20件	+1
医療施設	診療所(0～19床)	16件	+4
	病院(20床以上)	2件	+2
着工件数 小計		18件	+6
商工業施設	事務所	19件	+2
	コンビニエンスストア	4件	+1
	店舗(コンビニエンスストア以外)	13件	△8
	宿泊施設	1件	±0
	倉庫	18件	+11
	工場	2件	△1
着工件数 小計		57件	+5
その他	着工件数	4件	△4
着工件数 合計		178件	+8

先ごろ当協会で開催した「平成29年度ツーバイフォー建築自主統計調査」では、28年度の施設系建築の着工実績は、前年度より8件増の総計178件で、建物用途別の内訳は図表-1のとおりとなりました。

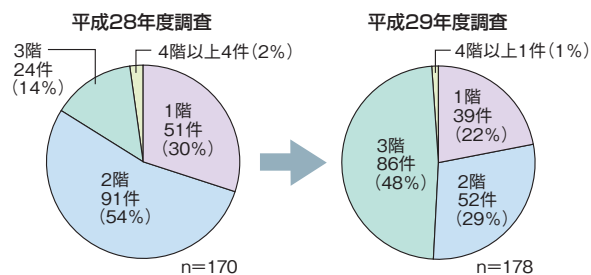
福祉施設は前年度と同数の51件でしたが、前年度が高齢者向けの福祉施設のみであったのに対し、今回は障がい者福祉施設、作業所など8件の「その他の福祉施設」が加わり、高齢者福祉施設で定評を得ているツーバイフォー建築の領域の拡がりを感じられます。

医療施設は前年度から6件増加し18件となり、小規模なクリニック系の建物が大きく増えました。

保育所は18件(前年度から6件増)あり、うち13件が500㎡以下で、また18件のうち12件が3階建て(前年度は2件のみ)でした。待機児童対策として敷地条件の厳しい市街地内で比較的小規模な保育所が急速に整備されてきていると思われます。

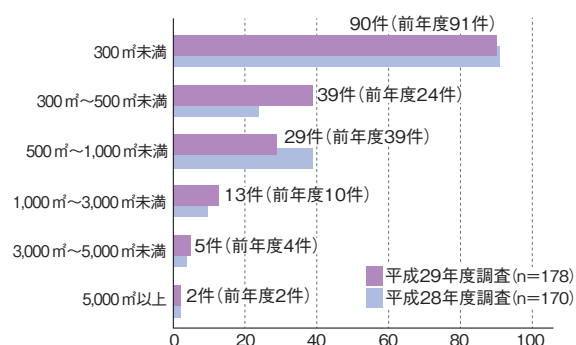
施設系建築の階数について見ると、図表-2にあるとおり、3階建てが大きく増加しています。これを用途別に見ると、福祉施設、保育所、診療所、事務所のいずれでも3階建てが増加しており、ツーバイフォー建築が3階建て建築としての評価を幅広く高めていると見られます。

図表-2 ツーバイフォー施設系建築の階数



施設規模で見ると、3,000㎡以上の大規模な物件が7件ありますが、うち4件が2階建てまたは3階建ての耐火構造の特別養護老人ホーム、3件は複数棟で構成される準耐火構造の寄宿舎・寮の建築事業でした。また1,000～3,000㎡の13件は、すべて3階建てで特別養護老人ホーム4件、グループホーム、有料老人ホーム、サ高住がそれぞれ2件、保育所、事務所、工場が各1件でした。ツーバイフォー工法による大規模建築の用途の拡がりを感じ取れます。

図表-3 ツーバイフォー施設系建築の延床面積



ツーバイフォー工法による施設系建築は短い工期、低コストなどの評価を得つつ引き続き着実に進展しており、今回の調査でも建物用途が拡がりを見せるとともに、3階建ての建築工法としての普及拡大が見られました。木の建築としての特長を生かし、さらにサステナブル社会の形成にも資する工法として、本年がさらに進化の年になることを期待したいと思います。